

事例

独居老人宅除雪サービス

愛和福祉会（北海道） 〒044-0221 北海道虻田郡喜茂別町字伏見3-13 TEL.0136-31-2222

活動の概要

この事業は平成6年11月から、喜茂別町内に在住する独居老人世帯31軒の除雪を行っているものです。喜茂別町は北海道でも有数の豪雪地帯で、一晩で数十センチも降雪があり、高齢者にとって除雪が大変な重労働で、大きな負担となっています。さらに、除雪車が残していった雪を処理するのも大変であり当施設が除雪を実施することにより、利用者と老人との交流が進み、喜茂別町より高い評価を受けています。

法人の概要

当法人は、昭和47年12月1日、札幌創成保育園が札幌市より設置認可を受け事業を開始しています。その後、保育園7園、知的障害施設が3園、高齢施設が4園等合わせて14施設を運営しています。当法人は小さな子どもも、障害をもつ方も、高齢の方も一人の人間としてその尊厳が認められ、地域の中であたりまえに生きて行ける社会こそ豊かな社会といえると考えています。

私たちは真の福祉を求め、共に生きる豊かな社会の創造をめざし、このような方針のっとり利用者に対し、多種多様なサービスを利用できるように構築し、その意思を尊重し支援することとしています。

- 経営施設数…14
- 法人全体の年間事業収入…2,497,894千円
- 主な経営施設

保育園	1972年設立	
特別養護老人ホーム		
	1983年設立	定員50名
知的障害者通勤寮	1984年設立	定員40名
知的障害者入所・授産施設		
	1985年設立	定員50名

実施施設の概要

- 施設名…愛和の里きもべつ
- 施設種別…知的入所更生 定員60名

施設の運営方針

より豊かな生活環境と地域福祉の向上をめざして、生活自立にむけての支援・地域生活の支援・授産的活動の支援を三大方針として各々の利用者の自己実現にとりくみます。

活動の内容

- 活動対象者…喜茂別町内独居老人世帯
- 活動の頻度…月10回・1回5時間・延べ41日間
- 年間延利用者数…31名
- 活動開始年…平成6年

活動開始の背景（取り組みの経緯）

北海道内でも有数の豪雪地帯である喜茂別町は、行政による除雪・排雪の体制は整備されていました。

しかし、個人宅の除雪はあくまでも個人の責任において行うものであり、高齢者・障害者世帯においては、いわゆるむこう3軒両隣りのな助け合いで行っていました。高齢化が進むなか

で、互助の精神のみでは、除雪がたちいなくなり、当施設が喜茂別町からの委託を受ける形態で、この事業に取り組むこととなりました。対象世帯は、概ね65歳以上の者で単身世帯、高齢者のみの世帯であり、冬期間の除雪労力確保が困難な世帯となっています。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

利用者・職員が当番体制で、活動の体制を作っています。特に休日の出勤については、担当作業班内で人員の確保を行っています。

また、大量降雪時には、町の担当課よりのヘルプコールが入り、人員を派遣する体制をととのえるとともに、担当作業班において定期的に対象宅の巡回を行っています。

年間の資材購入費として、スコップ・ジョンバ・車両燃料等を計上していますが、作業活動の一環としてとらえているので、特に経費的な負担感はありません。

豪雪地帯ゆえに、一夜にして大量の降雪時には、対象世帯を時間内に全てカバーしきれないこともあり、苦慮しているところです。

■利用者の声、地域の反応

利用者は、概ね10名程度、職員は2～3名程で行っています。

長期間行っている事業であり、利用者と対象世帯のあたたかい交流が続いています。老人が利用者にさし入れをしたり、また、利用者が高齢の方に声をかけ、「元気であるネ」などとの会話もはずむこともあります。

福祉施設の利用者が、地域へ貢献していることであり、喜茂別町全体からも、愛和の里きもべつの存在を評価され、この事業を長期にわたり継続してほしいとの要望もでています。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

施設が地域の共同体・社会資源として活動することに、意義があり、また、地域も当施設を受け入れています。

町内的には高齢化が進み、いずれ対象となる世帯が増加傾向となる見込みであり、その際の人員配置については、現在よりも充実させなければなりません。また、市町村合併後には、この事業が存続されるのかどうか、行政側がどう判断するかにより、大きく左右されると考えられます。